

地理歴史科（日本史B）ロードマップ

日本史B	
期待する生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆歴史を多角的・多面的に探究しようとする生徒</li> <li>◆各歴史的事象から歴史への関心と知識を深められる生徒</li> <li>◆歴史的思考力を身に付け、表現しようとする生徒</li> </ul> <p>→自分自身で問いを見つけ、資料に基づいて、思考を深め、表現することができる生徒</p>

大項目	中項目及び単元	単元のねらい (身に付けさせたい力)	【単元を貫く問い】 ◇単元内における問いの例	資料及び題材例	
(1) 原始・古代の日本と東アジア	ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書などさまざまな歴史資料の特性に注目し、 (a) <u>歴史を考察する基本的な方法を理解</u> させ、(b) <u>歴史への関心を高めるとともに</u> 、(c) <u>文化財保護の重要性に気付かせる</u> 。	<p>科目の導入(オリエンテーションと位置付ける)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去のことがなぜ分かるのか。</li> <li>・文字の無い時代の様子はどのようにしたら分かるのか。</li> <li>・なぜ遺物の年代が分かるのか。</li> </ul> </div> <p>生徒が興味・関心を持ちやすい具体的な歴史資料を基に、資料に基づいて歴史が叙述されていることを実感させ、関心・意欲を高めさせる。これは各単元でも実施して深化を図り、「大項目(2)」の学習につなげさせる。</p>	◇単元内における問いの例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献資料 (文書・木簡など)</li> <li>・画像資料 (絵画・写真)</li> <li>・考古資料 (遺物・遺跡)</li> <li>・年代測定の方法</li> </ul> <p>※具体的事例 縄文杉(年輪)、貝塚(地層)、黒曜石(交易)、木簡、中国の史書と金印</p>	
	イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	(エ) 旧石器・縄文・弥生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化の特色とその成立の背景を自然環境や大陸からの影響に着目して考察させる。</li> <li>・歴史記述の土台に資料があることを実感させる。</li> </ul> <p><b>(資料に基づいて歴史を捉えようとする態度(a)(b))</b></p>	<p>【人々は何を食べていたのか】</p> <p>◇この石器は何に使われたのだろう。</p> <p>◇土器の出現で生活はどのように変化したのだろう。</p> <p>◇弥生時代に石鏃が大型化したのはなぜだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺物 (石器、土器、金属器、抜歯、屈葬、伸展葬、貝塚、環濠集落)</li> <li>・中国の歴史書 (『漢書』地理志、『後漢書』東夷伝、『魏志』倭人伝)</li> </ul>
		(イ) 古墳・飛鳥・奈良	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア世界との交流によってもたらされた文物・制度の影響にも着目させながら、奈良時代に至る政治の動向や文化について考察させる。</li> </ul> <p><b>(歴史資料の特性に注目して歴史を捉えようとする態度(a)(c))</b></p>	<p>【当時の日本列島はどのような社会であったか】</p> <p>◇東アジアから日本はどう見えていたか。</p> <p>◇文字に書かれたものは全て事実か。</p> <p>◇なぜ木簡が奈良から出土したのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の歴史書 (『宋書』倭国伝、『隋書』倭国伝)</li> <li>・文字資料 (好太王碑、鉄刀と鉄剣の銘文、木簡)</li> </ul>
	ウ 古代国家の推移と社会の変化	平安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・律令体制の変質を摂関政治の展開と関連させながら考察させる。</li> <li>・荘園支配の動向や武士の成長などから、古代社会の変化の中にある中世社会の萌芽を考察させる。</li> </ul> <p><b>(資料を読み解き、総合的に歴史を考察しようとする態度(a)(b))</b></p>	<p>【平安時代を動かしていたのは誰(何)であったか】</p> <p>◇あなたは道長になりたいと思うか。</p> <p>◇武士はどのようにして登場したのか。</p>	<p>『日本後紀』(徳政論争)、『政事要略』(関白基経)、延喜の荘園整理令、『小右記』(藤原道長)、『扶桑略記』(末法)、法成寺、平等院、『類聚三代格』</p>

大項目	中項目及び単元	単元のねらい (身に付けさせたい力等)	【単元を貫く問い】 ◇単元内における問いの例	資料及び題材例
	<p>ア 歴史の解釈</p> <p>(d) <u>歴史資料を含む諸資料を活用</u>して、</p> <p>(e) <u>歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察する</u>などの活動を通して、歴史の展開における (f) <u>諸事象の意味や意義を解釈</u>させる。</p>	<p>中世社会の中で歴史的な事象を<b>変化(推移)</b>に注目して捉える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>鎌倉・室町時代で最も重要な出来事は何だろう。</p> <p>鎌倉・室町時代で最も重要な人物は誰だろう。</p> </div> <p>「大項目(2)」の学習の中で、中世社会における変化や、因果関係を複数の資料の比較により、気付かせる。また、諸資料の特性に留意させ、そこから分かる歴史的な事象が歴史の展開にどう位置付くのか、解釈する力を身に付けさせる。可能であれば、地域史料を活用し、より身近な視点で取り組ませる。</p> <p>「大項目(1)」の学習を受けて、各小単元の学習の中で深化を図るとともに、「大項目(3)」へつなげさせる。</p>		<p>※具体的事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土地の実権の推移 (延久の荘園整理令、伯耆国東郷荘の下地中分絵図、半済令)</li> <li>地域史料の活用 (エースネット)</li> </ul>
<p>(2) 中世の日本と東アジア</p>	<p>イ 中世国家の形成</p>	<p>(ア) 院政・平氏政権</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東アジア世界との交流が、政治・経済・文化にもたらした影響について具体的事例を取り上げて考察させる。</li> </ul> <p><b>(歴史的な事象の推移や変化・因果関係を複数の資料から多面的・多角的に考察する力(d)(e))</b></p>	<p>【平清盛は、なぜ大きな力をもつことができたのか】</p> <p>◇平氏政権の財源は何か。</p> <p>◇清盛が目指した(なりたかった)ものは何か。</p>	<p>『平家物語』、日宋貿易、厳島神社(武士・公家・僧)</p>
		<p>(イ) 鎌倉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕府成立や公武関係の変化から、また武士や宗教勢力に留意して、中世的な国家や社会の在り方について考察させる。</li> <li>東アジア世界との交流が政治・経済・文化にもたらした影響について具体的事例を取り上げて考察させる。</li> <li>文化については、仏教や新しい機運とその背景に注目して考察させる。</li> </ul> <p><b>(歴史的な事象の推移や変化・因果関係を複数の資料から多面的・多角的に考察する力(d)(e))</b></p>	<p>【鎌倉時代は、武士の時代といえるのか】</p> <p>◇幕府を支えたのはどのような人々か。</p> <p>◇裁くのは誰か。</p> <p>◇土地は誰のものか。</p> <p>◇武士はなぜ困窮したのか。</p> <p>【文化の主役は誰か】</p> <p>◇仏教の中心はどこか。</p> <p>◇絵巻物には何が描かれたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕府と朝廷の関係 (「北条泰時の書状」、「御成敗式目」)</li> <li>新補地頭の取り分 (「新編追加」)</li> <li>御家人の困窮(「永仁の徳政令」)</li> <li>各宗派の寺院</li> <li>絵巻物</li> </ul>
	<p>ウ 中世社会の展開</p>	<p>室町・戦国</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室町時代がその後の社会に与えた影響について、東アジア規模での人と物の動きにも留意させて解釈させる。</li> <li>地域経済、自治的単位や一揆、都市、文化の発達と、地域の特色やその背景についても考察させる。</li> </ul> <p><b>(歴史的な事象の推移や変化・因果関係を複数の資料から考察し、解釈する力(d)(e)(f))</b></p>	<p>【室町時代は鎌倉時代と何が違うか】</p> <p>◇誰が社会を動かしていたのか。</p> <p>【あなたが戦国大名になったら何をするか】</p> <p>◇戦国大名の立場で提言してみよう。</p>	<p>建武式目(鎌倉幕府の継承)、『善隣国宝記』(日明貿易)、『大乘院日記目録』(正長の土一揆)、『大乘院寺社雑事記』(山城国一揆)、分国法、楽市令</p>

大項目	中項目及び単元	単元のねらい (身に付けさせたい力等)	【単元を貫く問い】 ◇単元内における問いの例	資料及び題材例
	<p>ア 歴史の説明</p> <p>歴史的事象には</p> <p>(g) <u>複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの</u></p> <p>(h) <u>根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。</u></p>	<p>近世社会の中での歴史的事象を複数の視点から捉える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物に注目する。</li> <li>・政策に注目する。</li> </ul> </div> <p>「大項目(3)」の学習の中では、歴史的事象には複数の解釈が成り立つことに気付かせる。どのような資料や事実を根拠にしてどのような論理が成り立っているのか、さらにどの解釈や歴史叙述がより妥当と考えられるのかなどについて、複数の資料や解釈を踏まえて、考えを説明できる力を身に付けさせる。</p>		<p>※具体的事例</p> <p>(複数の視点がなりたつもの)</p> <p>朝鮮通信使、琉球使節、忠臣蔵(吉良上野介)、南鐮二朱銀</p>
<p>(3) 近世の日本と世界</p>	<p>イ 近世国家の形成</p>	<p>(ア) 安土・桃山</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世とは異なる近世国家が成立していく過程とその特質を、世界の動向と関連させて考察し説明させる。</li> <li>・織豊政権の諸政策や身分制度の形成が近世の政治、経済や社会の基盤形成に果たした役割を考察させる。</li> </ul> <p>(歴史的事象を複数の視点で捉え、それぞれの資料の解釈から論理的に説明する力(d)(e)(f)(g))</p>	<p>【天下統一の意義は何か】</p> <p>◇信長が天下を統一できていたら日本のその後はどうなっただろうか。</p> <p>◇秀吉は何を目指したか。</p> <p>◇桃山文化における天下統一の意義は何だろうか。</p>	<p>楽市令、信長・秀吉の事績、太閤検地、刀狩令、惣無事令、パテレン追放令、文禄・慶長の役、姫路城、濃絵</p>
		<p>(イ) 江戸初期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ諸国やアジア各地が相互に交流する世界の動向の中で、幕藩体制の特質を、考察し説明させる。</li> </ul> <p>(歴史的事象を複数の視点で捉え、それぞれの資料の解釈から論理的に説明する力(d)(e)(f)(g))</p>	<p>【なぜ、江戸幕府は260年もの長期間、維持することができたか】</p> <p>◇最も重要な政策は何か。</p> <p>◇将軍と天皇ではどちらに力があつたのか。</p> <p>◇鎖国は賢明な策であつたといえるか。</p>	<p>武家諸法度、禁中並公家諸法度、大名配置地図、職制、田畑永代売買の禁令、農村法令、禁中並公家諸法度、鎖国令</p>
	<p>ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容</p>	<p>江戸中・後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化に着目しその背景の考察を通じて諸産業の発達と都市の経済的繁栄に気付かせる。</li> <li>・幕藩体制が動揺していく過程を、欧米諸国のアジア進出やそれへの対応と関連付けて考察させる。</li> <li>・幕藩体制の変容とその背景を大きな視点で捉え、また近代社会へのつながりに着目して考察し説明させる。</li> </ul> <p>(歴史的事象を複数の視点で捉え、資料から総合的に考察し、自分の考えを論理的に説明する力(d)(e)(f)(g)(h))</p>	<p>【江戸時代はどんな時代であつたのか】</p> <p>◇最もよく知られた人物は誰だと思ふか(家綱以降)。</p> <p>◇最もよく知られた出来事(政策)は何だと思ふか。</p> <p>【江戸時代はよい時代であつたか】</p> <p>◇人物に注目して考えてみよう。(綱吉・吉宗・田沼)</p> <p>◇政策に注目して考えてみよう。(鎖国・三大改革)</p>	<p>農具、交通、貨幣、百姓一揆推移、狂歌と川柳(風刺)、異国船打払令、北方探査要図、列強の接近関係図、浮世絵、地域の文化財や民俗学の成果を活用(庶民の生活史)</p>

大項目	中項目及び単元	単元のねらい (身に付けさせたい力等)	【単元を貫く問い】 ◇単元内における問いの例	資料及び題材例
(4) 近代日本の形成と世界大項目		<p>「大項目(4)」の学習では、主題設定を行ない、「社会と個人」の視点でペア活動、グループ活動をさせる。「中項目ア(イ)」のまとめとして幕末・明治時代の人物をピックアップして提示し、その生涯を調べて世の中の動きと合わせて年表を作成させる。そして、人物を通しての追究学習により、明治期の人々が目指した国の在り方や近代化について考察を深めさせる。</p> <p>(主題について、資料から考察し論述する力(i)(j))</p>		<p>※具体的事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕末・明治の人々(西郷隆盛・前原一誠・大久保利通・木戸孝允・五代友厚・渋沢栄一・板垣退助・榎本武揚・福沢諭吉・岩倉具視・津田梅子など)</li> </ul>
	ア 明治維新と立憲体制の成立	<p>(ア) 幕末</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代国家の基盤の形成過程と背景を、近世から近代への移行という大きな視点に留意して考察し、国内外の動向に関連させながら解釈させる。</li> </ul> <p>(歴史的諸事象の意味・意義を資料から考察し解釈する力(d)(e)(f))</p>	<p>【江戸幕府はなぜ滅んだのか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇日本が開国した理由は何だったのだろうか。</li> <li>◇開国(開港)はどのような影響をもたらしたのだろうか。</li> <li>◇幕府崩壊が決定的となったポイントはどこだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ列強のアジア進出地図, 天保の薪水給与令, オランダ国王の開国勧告, ペリーの航路</li> <li>・日米修好通商条約</li> <li>・大政奉還上表文, 王政復古の令, ええじゃないか</li> </ul>
		<p>(イ) 明治前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府の諸政策を、国際情勢との関連や近世社会との比較から大きく捉えさせる。</li> <li>・文明開化が人々の価値観や生活にどのような影響を与えたかを考察させる。</li> </ul> <p>(歴史的な事象を複数の視点から考察し説明する力(g)(h))</p>	<p>【近代化は人々を幸福にしたか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇政府はどのような国を目指したか。</li> <li>◇民権家はどのような国を目指したか。</li> <li>◇明治憲法ではどのような国が規定されているか。</li> <li>◇人々はどのような国を目指したか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戊辰戦争関係地図, 五箇条の誓文, 五榜の掲示</li> <li>・徴兵告諭, 地券, 富岡製糸場, 学制</li> <li>・民撰議院設立建白書, 国会開設の勅諭, 私擬憲法, 大日本帝国憲法, 超然主義</li> </ul>
	イ 国際関係の推移と立憲国家の展開	<p>明治後期の政治と国際情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治後期の国内政治・外交政策の推移や因果関係を国際環境と関連させながら考察し説明させる。</li> </ul> <p>(歴史的な事象を複数の視点から考察し説明する力(g)(h))</p>	<p>【日本は何を目指したか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇条約改正は、どんな意味があったのか。</li> <li>◇日清・日露戦争はどのような結果をもたらしたか。</li> </ul> <p>【人々は戦争をどう見たか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇日本国民はどう見たか。</li> <li>◇欧米諸国はどう見たか。</li> <li>◇アジアの国はどう見たか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビゴーの風刺画</li> <li>・脱亜論, 下関条約, 三国干渉</li> <li>・日英同盟, 平民新聞(反戦論), ポーツマス条約, 日韓協約(第1次～第3次), 韓国併合条約, ネルーの回想</li> </ul>
	ウ 近代産業の発展と近代文化	<p>明治産業・社会・文化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代産業と近代文化の発展が、社会や人々に与えた影響について、複数の資料、複数の視点から考察し自分の考えを表現させる。</li> </ul> <p>(歴史的な事象を複数の視点から考察し論述する力(d)(e)(f)(g)(h)(j))</p>	<p>【近代化は人々を幸福にしたか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇産業革命は人々にどのような影響をもたらしたか。</li> <li>◇社会問題に対し、人々はどのように立ち向かったか。</li> <li>◇文化(特に教育)はどこまで浸透したか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪紡績会社, 品目別輸出入割合グラフ</li> <li>・高島炭鉱, 女工哀史と労働実態, 足尾銅毒事件, 治安警察法</li> <li>・教育勅語, 就学率グラフ</li> </ul>

大項目	中項目及び単元	単元のねらい (身につけさせたい力等)	【単元を貫く問い】 ◇単元内における問いの例	資料及び題材例
(5) 両世界大戦期の日本と世界		<p>「大項目(5)」の学習では、主題設定を行ない、「世界の中の日本」という視点で、探究活動をさせる。大正・昭和前期(終戦まで)において複数の資料を解釈し、筋道立てて考えを説明、論述させる。</p> <p>(適切な主題を設定し、資料から考察し論述する力(i)(j))</p>		<p>※具体的事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大戦前後の外交変化</li> </ul>
	<p>ア 政党政治の発展と大衆社会の形成</p>	<p>大正・昭和初期の政治と大衆社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政党政治の発展や大衆社会の進展を、産業革命以降の社会の発展や国民の政治意識の変化との関連を重視して構造的に考察、解釈及び表現させる。</li> </ul> <p>(資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察・解釈し論述する力(d)(e)(f)(j))</p>	<p>【政治を動かしていたのは誰か】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇大正デモクラシーで人々は何を求めたか。</li> <li>◇政党はどのような役割を果たしたか。</li> <li>◇首相を決めるのは誰か。</li> </ul>	<p>第一次護憲運動, 民本主義, 普通選挙法, 治安維持法, 選挙人資格の推移, 大正首相一覧</p>
	<p>イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会</p>	<p>第一次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会における日本の立場や対外政策の変化, 社会構造の変化, この時期の急激な経済上の変化が日本の社会にどのような影響をもたらしたのかについて考察, 解釈及び表現させる。</li> </ul> <p>(資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察・解釈し論述する力(d)(e)(f)(j))</p>	<p>【第一次世界大戦で世界はどう変わったか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇日本は第一次世界大戦になぜ参加したか。</li> <li>◇大戦は日本にどのような変化をもたらしたか。</li> <li>◇第一次世界大戦後、世界で何が変わったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の参戦, 二十一条の要求</li> <li>・グラフに見る近代日本の経済・産業, 成金風刺画</li> <li>・ヴェルサイユ体制下の日本の領土地図,</li> <li>・国際協調外交(国際連盟, 九カ国条約, ワシントン海軍軍縮条約, パリ不戦条約)</li> </ul>
	<p>ウ 第二次世界大戦と日本</p>	<p>第二次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の対外政策の推移, 戦争への過程を国際環境や国内状況と関連させて考察させる。</li> <li>・この戦争が世界の諸国家・諸民族にもたらした惨禍に着目させ, 平和で民主的な国際社会の実現に努めることの重要性を自覚させる。</li> </ul> <p>(資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察・解釈し論述する力(d)(e)(f)(j))</p>	<p>【日本はなぜ、戦争への道を歩んだのか】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇戦争を避けることはできなかったか。</li> <li>◇戦争を早期に終えることはできなかったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北伐関係地図, 山東出兵地図, 統帥権干犯問題, 五・一五事件</li> <li>・日満議定書とリットン報告書</li> <li>・天皇機関説と国体明徴声明</li> <li>・戦時体制下の国民(写真)</li> <li>・日中戦争地図, 太平洋戦争地図, ポツダム宣言</li> </ul>

大項目	中項目及び単元		単元のねらい (身につけさせたい力等)	【単元を貫く問い】 ◇単元内における問いの例	資料及び題材例
(6) 現代の日本と世界	ア 現代日本の政治と国際社会	戦後の政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>占領政策の推移や変化を国際環境と関連付けて考察するとともに、日本国憲法の特徴と成立の意義について認識させる。</li> <li>占領政策終了後は、日本が国際社会で果たしている役割を考察させ、国民の努力が豊かさ、平和に貢献してきたことに気付かせる。</li> </ul> <p>(資料を活用して、歴史的事象を考察・解釈し論述する力(j))</p>	<p>【世界の中で日本はどのような位置に立ったか】</p> <p>◇日本にとって独立とはどのようなことか。</p> <p>◇戦後日本がめざした国はどのような国か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国憲法前文</li> <li>サンフランシスコ平和条約</li> <li>日米安保条約</li> </ul>
	イ 経済の発展と国民生活の変化	戦後の経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済復興の過程を、連合国の対日占領政策に着目して考察させる。また、世界有数の経済大国となった過程を大きな流れとして捉えさせる。</li> <li>国民の生活意識や価値観の変化を、社会問題にも注目させながら捉えさせ、経済の国際化が国民生活に与えた影響を考察させる。</li> </ul> <p>(資料を活用して、歴史的事象を考察・解釈し論述する力(j))</p>	<p>【経済成長は人々を幸福にしたか】</p> <p>◇高度経済成長の光と影について考えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の経済成長率の推移</li> <li>エネルギー需給と食糧自給率、耐久消費財の普及率</li> <li>四大公害訴訟</li> </ul>
	ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、(i)適切な主題を設定させ、(j)資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、(k)歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	<p>科目のまとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>歴史を多角的・多面的に探究しようとする生徒 各歴史的な事象から歴史への関心と知識を深められる生徒 歴史的思考力を身に付け、表現しようとする生徒 →自分自身で問いを見つけ、資料に基づいて、思考を深め、表現することができる生徒</p> </div> <p>大項目(1)からスモールステップを踏みながら、歴史を多面的多角的に捉える視点、探究方法、主題設定方法、考察・論述方法を身に付けさせてきた。その集大成として、適切な主題を生徒自らが設定し、探究した成果を、論述を中心とする適切な方法によって表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。主題は、社会や集団と個人との関係、世界の中で日本が置かれている立場、それぞれの地域社会が持つ歴史とそこで営まれてきた生活の在り方など社会生活と関わる具体的なものとし、これまで身に付けてきた知識、技能、理解、認識を使って、発信することができるようにする。そして、歴史を学ぶ意義をより深く認識させつつ、人間尊重の精神に基づく真の国際理解を深め、日本の果たし得る役割や世界各国の相互協力の必要性についても認識させるようにする。</p>			

地理歴史科 単元デザイン

科目

日本史B

期待する生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 歴史を多角的・多面的に探究しようとする生徒</li> <li>◆ 各歴史的事象から歴史への関心と知識を深められる生徒</li> <li>◆ 歴史的思考力を身に付け、表現しようとする生徒</li> </ul>			 自分自身で問いを見つけ、資料に基づいて、思考を深め、表現することができる生徒
大項目	(1) 原始古代の日本と東アジア			
この単元で身に付けさせたい力等	・資料に基づいて歴史を捉えようとする態度			
単元名	イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 (ア) 旧石器・縄文・弥生	ねらい	・文化の特色とその成立の背景を自然環境や大陸からの影響に着目して考察させる。 ・歴史記述の土台に資料が有ることを実感させる。	
【単元を貫く問い】	【人々は何を食べていたのか】			評価場面 (◎)
第1次 旧石器時代 ◇核となる問い ◇この石器は何に使われたのだろう。 授業における主な活動 <資・史料> 握斧, ナイフ形石器, 尖頭器, 細石器の写真 <主な(言語)活動> ・石器の使い方を考察し, 授業プリントに記入する。 →旧石器時代の人々が食べていたものを考察し, 授業プリントにまとめる。	第2次 縄文時代 (◎) ◇核となる問い ◇土器の出現で生活はどのように変化したのだろう。 授業における主な活動 <資・史料> 縄文土器, 石鏃, 骨角器, 貝塚の写真 <主な(言語)活動> ・土器の出現による生活の変化を考察し, 授業プリントに記入する。 ・各道具から分かる縄文時代の人々の食生活を考察し, 授業プリントに記入する。 →旧石器時代と縄文時代では, 何が変化したのかを項目ごとにまとめる。	第3次 弥生時代 ◇核となる問い ◇弥生時代に石鏃が大型化したのはなぜだろう。 授業における主な活動 <資・史料> 縄文時代の石鏃と弥生時代の石鏃, 傷のある頭蓋骨, 環濠集落と高地性集落の写真, 『後漢書』東夷伝, 『魏志』倭人伝 <主な(言語)活動> ・石鏃の大型化の理由を考察し, 授業プリントに記入する。 →稲作の普及を踏まえ, 他の資料を参考に, 余剰生産物をめぐる戦闘が行なわれていたことを確認する。 ・『漢書』地理志と『後漢書』東夷伝から, 当時の倭国の状況を読み取る。 →文献資料と考古資料の意義を理解する。		
評価観点	関心・意欲・態度	評価方法	授業プリント	評価規準
				資料から分かることを読み取り, 資料に基づいて歴史を捉えることができる。

地理歴史科 単元デザイン

科目

日本史B

<p>期待する生徒像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 歴史を多角的・多面的に探究しようとする生徒</li> <li>◆ 各歴史的事象から歴史への関心と知識を深められる生徒</li> <li>◆ 歴史的思考力を身に付け、表現しようとする生徒</li> </ul>		<p>⇒ 自分自身で問いを見つけ、資料に基づいて、思考を深め、表現することができる生徒</p>		
<p>大項目</p>	<p>(2) 中世の日本と東アジア</p>				
<p>この単元で身に付けさせたい力等</p>	<p>・歴史的事象の推移や変化・因果関係を複数の資料から多角的・多面的に考察する力</p>				
<p>単元名</p>	<p>イ 中世国家の形成 (イ)鎌倉時代</p>	<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府成立や公武関係の変化から、武士や宗教勢力に留意して、中世的な国家や社会の在り方について考察させる。</li> <li>・東アジア世界との交流が政治・経済・文化にもたらした影響について具体的事例を取り上げて考察させる。</li> <li>・文化については、仏教や新しい機運とその背景に注目して考察させる。</li> </ul>		
<p>【単元を貫く問い】</p>	<p>【鎌倉時代は武士の時代といえるか】</p>		<p>評価場面 (◎)</p>		
<p>第1次 幕府の成立と職制</p> <p>◇核となる問い ◇幕府をささえたのはどのような人々か。</p> <p>授業における主な活動</p> <p>・以仁王の令旨が平氏追討の正統性の根拠となったことや、政所の別当に大江広元、問注所の執事に三善康信ら公家出身者を迎えるなど、武家政権はまだ、行政力を確立していなかったことを理解する。</p>	<p>第2次 守護地頭の設置と承久の乱</p> <p>◇核となる問い ◇土地は誰のものか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p>&lt;資・史料&gt; 大田文の荘園と公領の比率の表、「新編追加」</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <p>・大田文に見られる荘園と公領の比率から、公領もかなりの割合で存在したことを理解する。</p> <p>・「新編追加」から新補地頭の取り分を具体的に書き出す。</p> <p>→2つの解釈(問に対して、武士が影響力を持った、または持たなかった、以下同様)から1つを選択し、そのように判断した理由を授業プリントに記述する。</p>	<p>第3次 御成敗式目の制定</p> <p>◇核となる問い ◇裁くのは誰か</p> <p>授業における主な活動</p> <p>&lt;資・史料&gt; 「北条泰時の書状」、「御成敗式目」</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <p>・資料を読み解き、御成敗式目と律令との関係を考察する。</p> <p>→2つの解釈から1つを選択し、そう判断した理由を授業プリントに記述する。</p>			
<p>第4次 蒙古襲来と永仁の徳政令</p> <p>◇核となる問い ◇武士はなぜ困窮したのか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p>&lt;資・史料&gt; 「永仁の徳政令」</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <p>・「永仁の徳政令」を読み取り、「御家人」「非御家人」「凡下(一般民衆)」から「御家人」が借錢し、質流れをおこしたことを読み取る。</p> <p>→経済的に御家人が困窮し、庶民の経済力が増していったことを理解する。</p>	<p>第5次 鎌倉新仏教と旧仏教</p> <p>◇核となる問い ◇仏教が盛んであったのはどこか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p>&lt;資・史料&gt; 「図説、資料集」</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <p>・新仏教を開いた開祖の動きと中心寺院を地図上に書き出す。旧仏教の活動を更に地図上に書き出す。</p> <p>→2つの解釈から1つを選択し、そう判断した理由を授業プリントに記述する。</p>	<p>第6次 鎌倉文化</p> <p>◇核となる問い ◇文化の主役は誰か。</p> <p>授業における主な活動</p> <p>&lt;資・史料&gt; 「図説、資料集」</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <p>・文学作品などの作者を授業プリントに分類することで武士が文化に与えた影響を確認する。</p> <p>→2つの解釈から1つを選択し、そう判断した理由を授業プリントに記述する。</p>	<p>第7次 まとめ(◎)</p> <p>◇核となる問い ◇鎌倉時代はどのような時代であったか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p>&lt;資・史料&gt; 『愚管抄』</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <p>・これまでの学習を踏まえ「鎌倉時代はどのような時代であったか」を論述させる。</p> <p>→まとめとして慈円の『愚管抄』を紹介し、歴史の推移を大きく捉え、諸事象の意義を解釈することの重要性に気付かせる。</p>		
<p>評価観点</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>評価方法</p>	<p>授業プリント</p>	<p>評価規準</p>	<p>根拠を基に、自分の考えを述べることができる。</p>

地理歴史科 単元デザイン

科目

日本史B

期待する生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 歴史を多角的・多面的に探究しようとする生徒</li> <li>◆ 各歴史的事象から歴史への関心と知識を深められる生徒</li> <li>◆ 歴史的思考力を身に付け、表現しようとする生徒</li> </ul>		 自分自身で問いを見つけ、資料に基づいて、思考を深め、表現することができる生徒
大項目	(3) 近世の日本と世界		
この単元で身に付けさせたい力等	・歴史的事象を複数の視点で捉え、資料から総合的に考察し、自分の考えを論理的に説明する力		
単元名	ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 (江戸中・後期)	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化に着目し、その背景の考察を通じて諸産業の発達と都市の経済的繁栄に気付かせる。</li> <li>・幕藩体制が動揺していく過程を、欧米諸国のアジア進出やそれへの対応と関連づけて考察させる。</li> <li>・幕藩体制の変容とその背景を大きな視点で捉え、また近代社会へのつながりに着目して考察し説明させる。</li> </ul>
【単元を貫く問い】	【江戸時代はよい時代であったか】		評価場面 (◎)
第1次 綱吉の政治 ◇核となる問い ◇綱吉は暴君か、名君か。 授業における主な活動 <資・史料> 「生類憐みの令」など <主な(言語)活動> ・「生類憐みの令」の条文を検討し、法令に込められた意図を考察する。 ・綱吉の政治に関して、総合的なまとめを行ない、將軍綱吉に対する人物評価を行なう。 →授業プリントに將軍綱吉の評価を5段階で行ない、その理由について根拠を挙げながら論述する。 →クラス全体で、評価を発表し合い、その理由を発表する。	第2次 江戸時代の改革 (◎) ◇核となる問い ◇最も優れた改革はどれか。 授業における主な活動 <資・史料> 「享保の改革」「田沼政治」「寛政の改革」「天保の改革」の法令、改革を風刺した狂歌、百姓一揆の発生件数のグラフ <主な(言語)活動> ・「享保の改革」「田沼政治」「寛政の改革」「天保の改革」について、「政治・社会政策」「経済政策(農業・商業)」「対外政策」「文化政策」の観点から比較する。 ・改革が必要とされた社会的背景と、改革後の社会変化を確認する。 →授業プリントに観点別に政策をまとめ、総合的に評価し、順位をつける。その際、判断の根拠を挙げ、評価した理由を論述する。 →クラス全体で投票を行ない、その理由を発表する。	第3次 江戸時代の文化 ◇核となる問い ◇あなたのオススメの作品はどれか。 授業における主な活動 <資・史料> 『図説』など <主な(言語)活動> ・江戸時代の文化のまとめとして、江戸期に作成された美術作品の中から、最も好きな作品を一つ選び、作品に関して調べる。 →作品を一つ選び、他の生徒にその作品を薦める紹介文を書く。その際、作者や技法についても調べる。様式を統一して、クラス全体のまとめの冊子を作成したり、人気ランキングを行ない、他の生徒の考えに触れる機会を作る。	
評価観点	思考・判断・表現	評価方法	授業プリント 評価規準 複数の要素を比較し、思考・判断した結果を説明することができる。

地理歴史科 単元デザイン

科目

日本史B

期待する生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 歴史を多角的・多面的に探究しようとする生徒</li> <li>◆ 各歴史的事象から歴史への関心と知識を深められる生徒</li> <li>◆ 歴史的思考力を身に付け、表現しようとする生徒</li> </ul>		⇒	自分自身で問いを見つけ、資料に基づいて、思考を深め、表現することができる生徒	
大項目	(4) 近代日本の形成と世界				
この単元で身に付けさせたい力等	・歴史的事象を複数の視点から考察し説明する力				
単元名	ア 明治維新と立憲体制の成立 (イ) 明治前期	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府の諸政策を、国際情勢との関連や近世社会との比較から大きく捉えさせる。</li> <li>・文明開化が人々の価値観や生活にどのような影響を与えたか考察させる。</li> </ul>		
【単元を貫く問い】	【近代化は人々を幸福にしたか】		評価場面 (◎)		
第1次	戊辰戦争と新政府の発足～明治初期の諸改革	第2次	新政府への反抗・自由民権運動～初期議会	第3次	主題設定に向けて(探究学習・まとめ)(◎)
◇核となる問い	◇政府はどのような国を目指したか	◇核となる問い	◇民権家はどのような国を目指したか。	◇核となる問い	◇人々はどのような国を目指したか。
授業における主な活動		◇明治憲法ではどのような国が規定されているか。	授業における主な活動	授業における主な活動	
<p>&lt;資・史料&gt;</p> <p>戊辰戦争関係図、五箇条の誓文、五榜の掲示、徴兵告諭、地券、富岡製糸場、学制</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や資・史料から読み取れる状況について、旧幕府方、政府、民衆それぞれの視点で考察する。</li> <li>・資・史料を用いて国際情勢との関連や近世社会との比較の中で、諸政策について捉える。</li> <li>・文明開化が人々の価値観や生活に与えた影響について考察する。</li> </ul> <p>→ワークシートへの記入を通して、明治政府が目指した国家像について理解を深める。</p>	<p>&lt;資・史料&gt;</p> <p>民撰議院設立建白書、国会開設の勅諭、私擬憲法、大日本帝国憲法、超然主義</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由民権運動と政府側の対応や動きに関する史料を読み取り、両者の動きを対比させる。</li> </ul> <p>→ワークシートへの記入を通して、民権家、政府それぞれが目指した国家像について理解を深める。</p>	<p>&lt;資・史料&gt;</p> <p>&lt;主な(言語)活動&gt;</p> <p>クラス共通のテーマ…「社会と個人」</p> <p>形態…ペア活動、グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された幕末～明治初期の代表的な人物から一人を選択し、その生涯と世の中の動きを併せた年表を作成し、社会への影響について考察する。</li> <li>・ペアに成果を伝えるとともに、他の人物と対比させ、彼らの新しい時代への期待度や目指した国家像、社会への影響についてグループで意見交換する。</li> </ul> <p>→この時期の人々がどのような国を目指したかを通して、近代化が人々を幸福にしたかについて考察する。</p>			
評価観点	思考・判断・表現	評価方法	授業プリント	評価規準	担当した人物について、社会との関連の中で捉えることができる。

地理歴史科 単元デザイン

期待する生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 歴史を多角的・多面的に探究しようとする生徒</li> <li>◆ 各歴史的事象から歴史への関心と知識を深められる生徒</li> <li>◆ 歴史的思考力を身に付け、表現しようとする生徒</li> </ul>		⇒	自分自身で問いを見つけ、資料に基づいて、思考を深め、表現することができる生徒	
大項目	(5) 両世界大戦期の日本と世界				
この単元で身に付けさせたい力等	・資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察・解釈し論述する力				
単元名	イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 (第一次世界大戦～ワシントン体制)	ねらい	国際社会における日本の立場や対外政策の変化、この時期の急激な経済上の変化が日本の社会にどのような影響をもたらしたのかについて考察、解釈及び表現させる。		
【単元を貫く問い】	【 第一次世界大戦で世界はどう変わったか 】			評価場面 (◎)	
第1次 第一次世界大戦と日本の中国進出	第2次 大戦景気とその影響	第3次 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ( ◎ )			
◇核となる問い	◇核となる問い	◇核となる問い			
◇日本は第一次世界大戦になぜ参加したか	◇第一次世界大戦は日本にどのような変化をもたらしたか	◇第一次世界大戦後、世界で何が変わったか			
授業における主な活動	授業における主な活動	授業における主な活動			
<資・史料> 日本の参戦 (加藤外相)、二十一か条の要求、  <主な (言語) 活動> ・資・史料を基に、第一次世界大戦の背景を捉え、国際社会における日本の立場、日本の参戦理由について考察する。 ・資・史料から、第一次世界大戦中の日本の動向を捉える。 →ワークシートへの記入を通して、第一次世界大戦前の国際社会に対する考察を深める。	<資・史料> 日本の経済産業、成金風刺画  <主な (言語) 活動> ・資・史料から、社会構造の変化を捉える。 ・急激な経済上の変化がもたらした日本社会における影響について考察する。 →ワークシートへの記入を通して、第一次世界大戦がもたらした影響、変化について、経済的な面を中心に理解を深める。	<資・史料> ヴェルサイユ体制下の日本の領土地区、国際協調外交 (国際連盟・九カ国条約・ワシントン海軍軍縮条約・パリ不戦条約)  <主な (言語) 活動> ・ヴェルサイユ体制、ワシントン体制で諸国がどのように外交姿勢を転換したのかを捉える。 ・諸国の変化を受けて、日本の対外姿勢がどのように変化したかについて、考察させる。 →ワークシートへの記入を通して、2つの世界大戦の間の時期における日本と世界の状況について理解を深める。			
評価観点	思考・判断・表現	評価方法	授業プリント	評価規準	資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察できる。